住吉神社　名神大

住吉は須三乃江と訓べし○祭神三箇男神考證○與良郷雞知村に在す、玉勝問例祭

○式三、臨時祭名神祭二百八十五座、中略對馬島住吉神社一座、

類社

攝津國住吉郡住吉坐神社の條見合すべし

神位

續日本後紀、承和四年二月戊戌、對馬島下縣郡無位住吉神奉レ授二從五位下一、三代實錄、貞觀元年正月廿七日甲申、奉レ授二對馬島從五位下住吉神從五位上一、同十二年三月五日丁巳、授二對馬島從五位上住吉神正五位下一、元慶三年五月廿一日甲戌、對馬島正五位下住吉神從四位下、

和多都美神社

和多都美は前に同じ○祭神また同じかるべき歟、考證云、海産神、○今住吉社合殿に在す玉勝問○當郡和多都美神社名神大

神位

三代實錄、貞觀十二年三月五日丁巳、授二對馬島和多都美神從五位上一、

平神社

平は多比良と古點あり○祭神天夷鳥命考證○國分八幡宮西側に在す、今脇宮と稱す、玉勝問例祭

○古事記、神代段天菩日命之子建比良鳥命、津島縣直等之祖也、

神位

續日本後紀、承和八年八月戊午、奉レ授二對馬島無位平神從五位下一、三代實錄、貞觀十二年三月五日丁巳、授二對馬島從五位上平神正五位下一、元慶三年五月廿一日庚戌、授二對馬島正五位下平神從四位下一、

敷島神社

敷島は志岐志麻と訓べし○祭神詳ならず考證、大八洲靈と云、今從はず、○與良郷志加村に在す玉勝問

神位

三代實錄、貞觀十二年三月五日丁巳、授二對馬島敷島神從五位上一、

都都智神社

都々智は假字也○祭神天狹手依比賣古點集○與良郷尾崎村一西に在す、今郷崎明神、または津句智神と稱す、同上例祭　玉勝問には、佐須郷久禮村に在す矢立神山と稱すと云、古蹟集に從ふ、猶糺すべし、

官社

續日本後紀、承和七年十一月庚辰、對馬島都々知神預二官社一、

銀山神社

銀山は前に同じ○祭神金山彦命考證○佐須郷樫根村に在す、今六所明神と稱す、玉勝問例祭

○日本紀、天武天皇三年三月庚戌朔丙辰、對馬國司守忍海造大國言、銀始出二于當

古蹟集に津々は津句の誤ならんと云り然るべからず